

令和2年度 第3回橋本地区まちづくり会議全体会結果

- ・日 時：令和2年9月17日（木） 午後7時～8時45分
- ・場 所：緑区合同庁舎 4階 集団指導室1・2
- ・出席者：16名
- ・傍聴者：0名

1 開 会 進行：高野副代表

2 あいさつ 安藤代表

3 協議事項等

(1) 第2回全体会における各委員からの発表内容について

事務局から資料について概要説明があった。

また、相模原協同病院の開院スケジュールについて安藤代表から情報提供があった。内容は以下のとおり。

（代表）相模原協同病院事務局長から話をうかがったところ、来年1月に新病院の開院を予定しているとのことであった。正式な情報については近々相模原協同病院のホームページで公表するとのことであった。

(2) まちづくりを考える懇談会について

事務局から橋本地区の開催日は2/18に決定したとの報告があった。今後のスケジュールを踏まえ、9月、10月及び11月の会議は懇談会を意識してテーマを協議するよう依頼があった。

(3) 今年度の全体会テーマについて

今年度の全体会のテーマ等について、2班に分かれ、19の課題を各班に振り分け協議した。協議終了後、各班から協議内容の報告があった。内容は以下のとおり。

【報告内容】

1班：「まちづくり会議の在り方」についてはまちづくり会議全体にかかわることであるため、情報発信などを含め、今後の流れを見ていく必要がある。

「防犯灯を活用した効果的なカメラの活用について」は特に商店街では維持管理が厳しい点から防犯灯を撤去する流れになっているため、自治会などの地域団体と連携して設置の要望などをしていきたい。

「境川沿いの防災対策」、「自然災害時の避難所トイレ対策について」、「マンション住民の避難所対策等について」切り口は違うが、防災という一つのジャンルで捉えて考えていきたい。

「自治会の加入促進について」、「若い世代と交流できる場づくり及びまちづくりへの参加について」、「ボランティアの担い手不足について」、「民生委員の人員確保に

ついて」は地域コミュニティの問題とまとめられる。課題を包括してどうコミュニティを活性化していくか考えていきたい。

「橋本アプリの活用方法について」は情報発信のツールとして使えるとよいがまだ見えていない部分もあるため、商店街とまちづくり会議で連携して進めたい。

2班：「二本松小学校児童の通学路の安全対策について」は相原高校生徒の自転車マナーが課題であり、高校との話し合いの場を設けようとしているが担当教師の入れ替わり等もあり、できていない状況である。今後も話し合いの場ができるよう進めていきたい。

「小学校児童の通学路内にある危険物の除去及び対策について」危険物は小学校周辺に限らず様々な箇所に数多くある。危険物に関する法的規制などを調べて対応を考えた方がよい。また、危険物がある土地の所有者が店舗等の民間事業者の場合、市から要望を伝えるより地域から直接伝えた方が効果的であるとの意見があった。

「横断歩道前の縁石に関する対策について」は斜めに切り下がっている縁石は何らかの理由があって設置していると思われるので調べてから対策等を考えたい。

「橋本駅入口交差点の歩車分離式の要望について」交差点自体は斜め横断ができないため、歩車分離式信号機を設置するとなると横断するのに時間を要する課題が出てくる。

「橋本駅北口付近の飲食店等の客引き対策について」飲食店の声掛け程度の取り締まりは難しいと思う。

【主な意見等】

- ・学校の通学路の危険物について各学校で実施している通学路点検の際に見つけた危険物について報告をいただいたと思うが、学校内だけで情報がとどまっている。危険箇所に地域の方が関連している場合に自治会等の地域も協力していかないといけないと思う。解決案をまちづくり会議で議論してみてもよいと思う。
- ・今日の会議の結果を踏まえ、次回役員会でテーマ等について整理することとした。

(4) 橋本地区まちづくり会議視察研修について

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、中止を決定した。

(5) その他

- ・市立北市民健康文化センターの在り方検討委員会について
小林委員から9/9開催の第一回検討委員会について報告があった。次回検討委員会の参考資料として施設の課題やコンセプトについて検討シートの作成を各委員にお願いした。
- ・10月の日程について
10/6(火)午後7時役員会、10/22(木)午後7時全体会実施となった。

4 閉 会 高野副代表